

2019年5月10日  
日本板硝子株式会社

## 2019年3月期 通期連結決算報告 (2018年4月1日～2019年3月31日)

- 2019年3月期は、営業利益6期連続増益。最終利益も大幅増益
- 2020年3月期はVA化によるミックス改善が寄与するが、営業利益・最終利益ともに減益
- MTPフェーズ2の方向性に変更なし。「Shift to “VA + Growth”」の重点施策実行により、事業構造の変革を進める

### 2019年3月期は、営業利益6期連続増益。最終利益も大幅増益

- グループ売上高は、下期に欧州及び北米の自動車市場が軟調となったものの、他の市場が安定的または堅調に推移している状況を反映し、2%増収の6,128億円(前年5,989億円\*)
- 無形資産償却前営業利益は、エネルギー関連コストの上昇や南米の通貨安等の影響を受けながらも、3%増収の388億円(前年377億円\*)
- 親会社の所有者に帰属する当期利益は、ネット金融費用の削減や持分法による投資利益の改善により、116%増益の133億円(前年:62億円\*)

	売上高		無形資産償却前営業利益	
	FY19	FY18 (*)	FY19	FY18 (*)
建築用ガラス事業	2,473億円	2,380億円	258億円	263億円
自動車用ガラス事業	3,147億円	3,114億円	151億円	142億円
高機能ガラス事業	491億円	484億円	81億円	54億円

### 2020年3月期はVA化によるミックス改善が寄与するが、営業利益・最終利益ともに減益

- 売上高は、VA製品売上の増加により、わずかに増収となる6,200億円
- 市場環境が厳しくなる中、原燃材料コストの上昇を価格転嫁できない状況により、無形資産償却前営業利益は5%減益の370億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は17%減益の110億円を予想

### MTPフェーズ2の方向性に変更なし。「Shift to “VA + Growth”」の重点施策実行により、事業構造の変革を進める

- 「事業収益力強化」: VA化加速とたゆまぬ効率化・コスト改善
- 「成長事業の拡大」: 戦略投資の立ち上げ、新製品拡販
- 「新規事業の育成」: ビジネス・イノベーション・センター、R&Dの増強

\* : IFRS 第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。

<2019年3月期通期 連結決算説明資料より抜粋>

### 連結損益計算書



(億円)	2018年3月期 <sup>*1</sup>	2019年3月期	増減
売上高	5,989	6,128	139
無形資産償却前営業利益	377	388	11
償却費 <sup>*2</sup>	(20)	(19)	1
営業利益	357	369	12
個別開示項目	(13)	(71)	(58)
金融費用(純額)	(146)	(133)	13
持分法による投資損益	24	62	38
税引前利益	222	227	5
当期利益	79	144	65
親会社の所有者に帰属する当期利益	62	133	71
EBITDA	636	647	

\*1: IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。  
\*2: ビルキント>買取に伴って発生した無形資産の償却

**業績予想に沿った着地、営業利益6期連続増益**

2019年5月10日 | 2019年3月期通期決算報告

### 2020年3月期通期業績予想

#### 連結損益計算書



(億円)	2019年3月期 実績	2020年3月期 見直し	増減
売上高	6,128	6,200	72
無形資産償却前営業利益	388	370 <sup>*2</sup>	(18)
償却費 <sup>*1</sup>	(19)	(20)	(1)
営業利益	369	350	(19)
個別開示項目	(71)	(60)	11
金融費用(純額)	(133)	(140) <sup>*2</sup>	(7)
持分法による投資損益	62	40	(22)
税引前利益	227	190	(37)
当期利益	144	120	(24)
親会社の所有者に帰属する当期利益	133	110	(23)

\*1: ビルキント>買取に伴って発生した無形資産の償却  
\*2: IFRS第16号「リース」の適用により、営業費用が10億円減少し、金融費用が10億円増加することを  
見込んでおります。税引前利益、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益への影響は軽微です。

**原燃材料コストの増加等により減益**

2019年5月10日 | 2019年3月期通期決算報告

決算関係問い合わせ先：

● IR部： 03-5443-0100

報道関係問い合わせ先：

● 広報部： 03-5443-9477